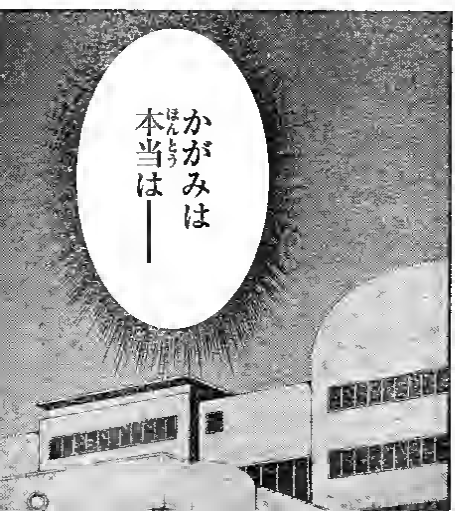
第十八話／鏡のなかのあなたと

ささみさん@がんばらない

原作 日日日（あきら） 作画 西川彰（にしかわあきら）

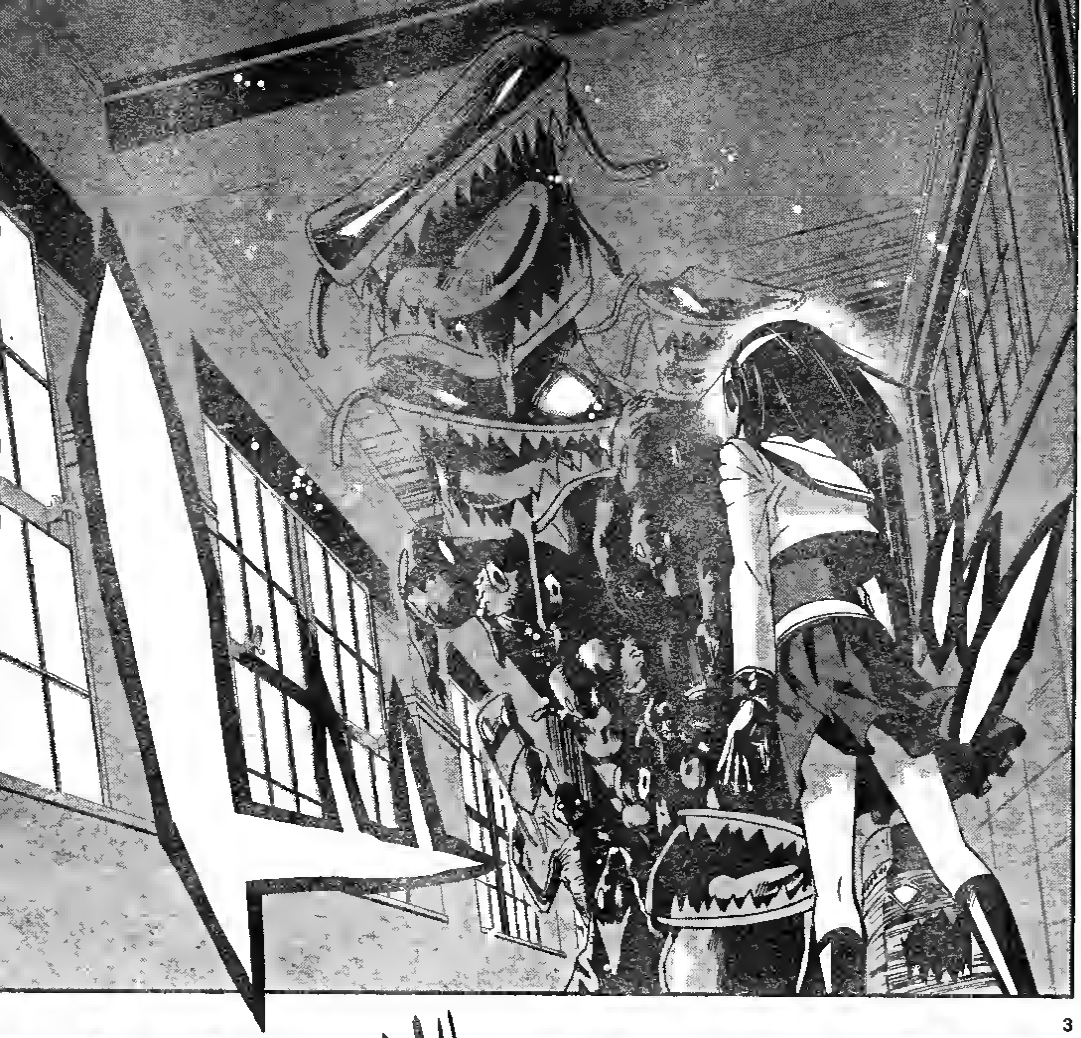
（「ささみさん@がんばらない」ガガガ文庫刊）〔キャラクター原案〕左

1



TVアニメTBS他にて絶賛放送中!!
大量重版出来!! 単行本1巻発売中!!

戦ってたんだ…
私に取り入ろうとする悪神と！
ズゴゴゴ
かがみを妬む悪神達と!!
たった一人で戦うかがみの想いは…!!?
「学校のみ」でなければ、厄介な数でした。
学校に残る悪神はあと僅かなのです。
単体での戦闘では、
負ける気がしないのですが…

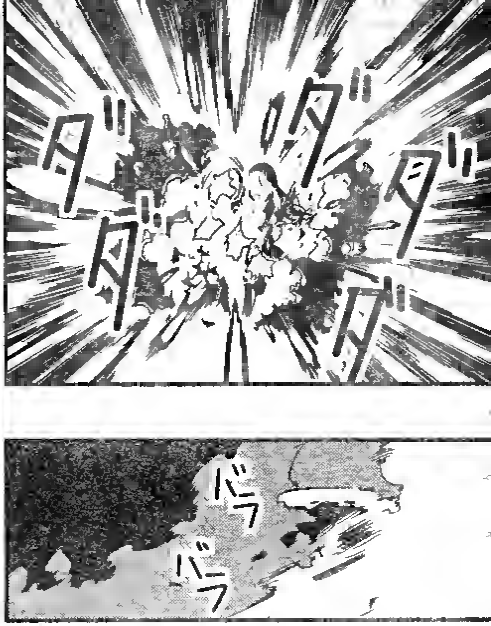


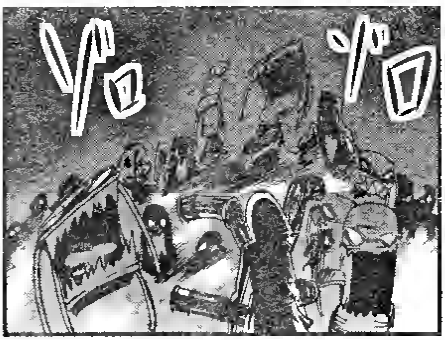
まぁ…
これが最後のお掃除になると思えば、
気楽なのです。
それに――

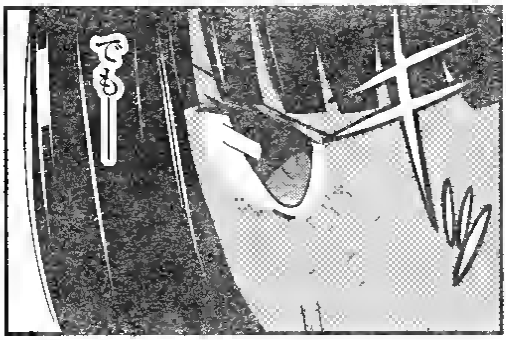
頼られてしまったのですから、
しょうがないのです。

私は神様とはいえ、半端もの。
しかし…

最善を尽くすのみです!!
!
動けまい…
これでお前も終わりだ。
甘いのです!!



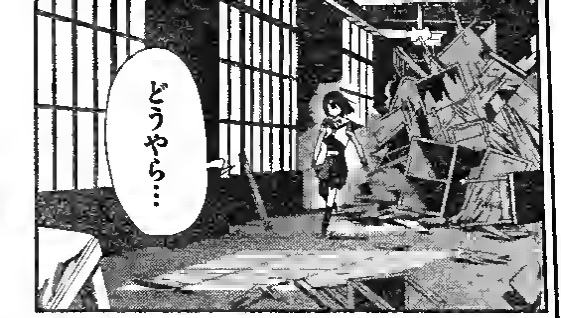




前号まで かがみに冷たい言葉を浴びせられ、落ち込んでいたささみ。だが、つるぎやたまから「かがみは友達が出来たのを喜んでいた」と聞き、自分が何か大きな"勘違い"をしていた事に気付いて…

その障害になるものはすべて
取り除く!!

彼女が気づかない裏側で、
いくらでも…
血に、まみれましょう。
だって…



嬉しかったから…

友達になって!!

私は
意志のない
人形でした。

常に
完璧を望まれた
道具。

でもいつも
心の中は
からっぽ。

機械のように
凍てついて
涙を流す
機能もなく、

それでも…

〝平凡〟に…

〝ふつう〟に
憧れていたのです…

そんな私にも
家族ができ、

友達も…

初めての
友達

たとえ
〝場繋ぎ(ベターフレンド)の友達〟だとしても、
私(わたし)には…
かがみ――
かがみ――
かがみ!!!

おや ささみさん。
登校には 少し早すぎるのでは？
！
そっちも 居残りにしては 遅すぎるんじゃないの？
そうですか？
そ、それに、放課後 クラスメートと 歩いてるの 見たけど、
今日の用事って あの子らと 遊ぶことだったの!!?
そ、そんなわけないのです。

ちょっと〝悪神〟に憑かれていたから、
追い払ってやっただけなのです。
人間の中に棲みついて、
あなたの〝友達〟になって、
〝神格〟を高めようとしていたのです。

放っておけば
あなたに
都合のイイ
友達になって
くれたでしょうね。
まぁ、
あなたは
お子様
ですから、
そんな
ニセモノの
友達でも
大喜びでしょうが。

ありがとう…
かがみ。

ひ、ひとの話を
聞いているの
ですか!?
全部
わかってるよ。
かがみが
ボロボロなのも、
この状況も
全部
私のためだって…
はぁ!?
何を
言って…

な…
なんなのですかあなたは!!?
ごめんね——かがみ——!!

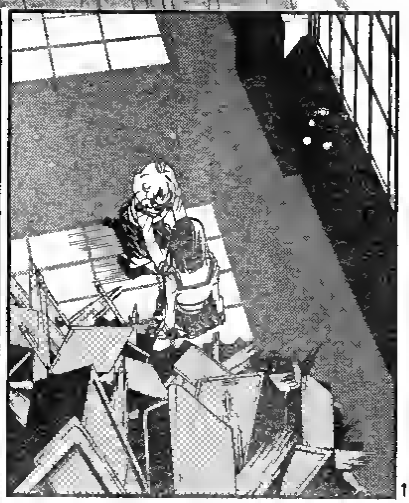
鼻水が!?
ばっちいのです
放すのです!!
がぁがぁびぃぃ〜〜〜!!
これからは
周りの神々に
キツく
言っておくから!
もうケガ
なんて
させない!!

だから
かがみ、
これからも——
ウゼェーのです
この売女!!
かがみ
大好き
だよ〜〜〜〜
キモいの
ですよ
この雌豚!
死ね!!

私は
〝場繋ぎの友達〟。
役目は
終わったのです。
だから
つなぎの
友達って
カンジで!
勝手に明るい
学校生活でも
エンジョイして…
かがみ!!

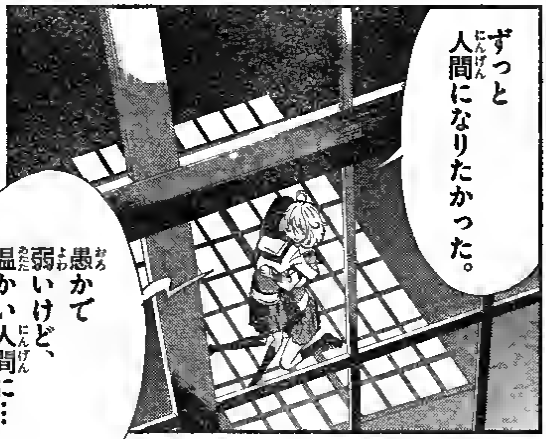
友達になって!!

場繋ぎとか
あんなの
照れ隠しだよ。
…ゴメンね。
ホントは――



やさしくて
不器用(ぶきよう)な…
かがみが
好(す)き。
ううん、
もっと、
もっと、
好(す)きに
なれると
思(おも)うの！

私には、
二つの願いがありました。


ずっと人間になりたかった。
愚かで弱いけど、温かい人間に…

なれるよ。

なれるでしょうか…
人間に…
友達に…

なっていこうよ。

これから
二人で…
二人なら、きっと〝がんばれる〟。
■第12号につづく■